

水彩画教室 「山の辺の川／奈良県」

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所

田中 千尋 Chihiro Tanaka

山の辺の道の近くにある川です 紅葉の時期には川面に木々が反映して とても美しいです 上代の人々も この川沿いの道を 季節を楽しみながら歩いたのでしょう 私もまたこの土手の道をゆっくり歩きたいです



これが完成した絵です



1、常緑樹の緑と 紅葉の橙を織り交ぜて描きます ほぼ補色関係にあるので 互いに目立つようになります



2、川辺の民家 特に古民家というわけでもなく 普通の民家を このような素朴な風景の中に描くのが面白いです



3、川面の反映は失敗でした 紅葉の反映を描きたかったのですが 暗い色調になってしまいました



4、構図の中心的存在の橋も 特に特徴がある橋ではありません こういうどこにでもある橋が面白いのです



5、右側の土手は 二段階の高さがあります 緑の草なのですが 少し冬枯れが始まって やや色が褪せています



6、川の岸に生える雑草 縦のタッチで軽快に描き あまり丁寧になり過ぎないようにします